

## 令和4年度 社会教育委員 第2回定例会議の概要

1. 日時	令和4年7月15日(金) 13:30~15:30
2. 場所	市役所3階 302会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】9名出席（児玉委員欠席）</p> <p>【北信教育事務所 生涯学習課】谷口陽治課長 菅原勇介指導主事</p> <p>【市職員】島田教育部長、宮坂生涯学習課長、高島生涯学習係長、宮坂社会教育指導員けいさい</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会（宮坂課長）</p> <p>2. あいさつ（島田教育部長、小林京子委員長）</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1)委員として取り組む独自課題等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員として関わったこと等について各委員より</li> </ul> <p>(2)6月15日開催、長野県社会教育委員連絡協議会定期総会について (高島係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5名参加（社会教育委員4名、生涯学習課職員1名）</li> </ul> <p>(3)6月28日開催、北信地区社会教育委員連絡協議会総会・地区研修会について (高島係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10名参加（社会教育委員5名、生涯学習課職員5名）</li> </ul> <p>(4)7月7日開催、信州型コミュニティスクール推進セミナーについて (高島係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5名参加（社会教育委員4名、生涯学習課職員1名）</li> </ul> <p>4. 北信教育事務所との意見交換（谷口陽治課長 菅原勇介指導主事）</p> <p>5. 今後の予定等について（高島係長）</p> <p>(1)北信地区「地域ぐるみの教育フォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月22日(土) 山ノ内町文化センター 13:20~16:20</li> </ul> <p>(2)次回、社会教育委員定例会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月7日(金) 市役所3階302会議室</li> </ul> <p>6. その他</p> <p>7. 閉会（宮坂課長）</p> <p>【主な協議内容】（進行：小林京子委員長） （○は社会教育委員、▲は事務局の発言）</p> <p>3-(1)に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○堀口委員 <ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育はどうあるべきかを常に考えている。社会教育は、学校教育に欠けているところをカバーしないとバランスのとれた成長はない。世の中はどんどん変わっていくので経験体験を取り入れてよりいい判断力を育んでもらいたい。</li> </ul> </li> <li>○塚原委員</li> </ul>

日本遺産の冠着山についての保存する会をやっている。今年は植物に関する観察会を行う予定。自分たちが住んでいる場所について知ろうとするものである。

○山崎委員

4月から地域行事の中止が続いている。子どもはストレスだろう。三本木の育成会長と相談し、お盆に三本木公園で花火大会をやろうということになった。人とお金集めで貢献したい。地域の方が盛り上がって計画している。行事を通じて子どもを育て、やがては地域の担い手となってほしいと願っている。

○若林委員

委員として3年目。先日の懇親会、楽しい話をさせてもらった。

○飯島委員

上山田小学校では、3つの重点のうちの1つを「ふるさと学習」としている。それぞれの学年が地域のみなさんから学んだり、地域に出たりしていく。「月の都ふるさと千曲」の運営委員会が立ち上がった。更埴西中と治田小で発表予定。

○宮坂委員

埴生公民館の委員として公民館の行事について検討している。小学校、中学校の学校運営委員では、教員仲間として活動。区長経験者の会の会長もしている。

○中島委員

社会教育委員としてなかなか自分で仕掛ける機会が見つけれない。イベントなどで何かできないかアンテナを高くしている。健康が大切。スポーツをする機会を提供できないか、考えている。

○小林いせ子副委員長

勤めは、編集、ライフワークは、子どもたちの読書である。県のほうでは、「母親文庫」を閉じた。アドバイザーという資格を取って、図書館の講座を開いている。コロナでなかなかできないが、1回目の赤ちゃんの絵本プレゼントができた。社会教育は赤ちゃんからお年寄りまで。本を読むことは一生のことであり、本と付き合いながらやっていきたい。

○小林京子委員長

スポーツで子どもやお年寄りとかかわっている。お母さんや小さな子どもたちと体を動かす教室などをしている。体操教室と読み聞かせのコラボもできそうである。社会教育は遠いところではなく、足元、身近なところを見て、やっていくものだと思う。

3-(2)(3)(4)に関すること

▲高島係長

4に関すること

<谷口課長>

社会教育委員は何を目的としているか、という悩みがあるが、委員の皆さんの自分でやっていることを聞いて、それぞれが自己課題を持って取り組んでいる様子がわかった。きっかけが大事。きっかけは自分の中にある。自分が何に関心を持っているか、何に課題を感じるか、そのフィルターがきっかけのベースになる。今日の話がきっかけのひとつになれば、ありがたい。

演習「隣家のバスケット音がストレス 花も倒された」この件について、円満な解決に向けて、学校・地域がやるべきことを考える。

➡自分の考えを書き、隣の人と意見交換 全体での意見交換

○小林いせ子委員・・・学校で思いやりや気づきを学ぶ授業をやってもらうことはできないか。

子どもたちの学びは、学校だけではない。地域で学ぶ、地域の方から学ぶことが大切。地域の子を学校だけで育てる時代ではない。

<菅原指導主事>

教育は教え、教わる関係があるが、学習は自分の興味関心に基づき、自ら一人学びをしていく。生涯学習、社会教育は幅が広い。社会教育委員は、ひとりひとりが地域住民の代弁者で、頼れる存在になってほしい。地域の意見を行政に反映させることが社会教育委員の役割。ひとりひとりの活動も大事だが、チームを組んで取り組むこともしていきたい。

会議に出る、調査活動を行う、学習会を行う、などが社会教育委員として行うことである。

それぞれの地域には課題があるが、自分の住んでいる地域には今どのような課題があるか考える。

○宮坂委員・・・地域の行事への参加が少なくなっている。

○小林いせ子委員・・・街並みを他の方に見せられないような状況

このような地域課題についてできることを社会教育委員として考えてみるのも、よいのではないか。

地域課題の解決に向けた研究調査の場として、「コミュニティースクール」のしくみがある。会議をして、どんな子どもを育てたいか話し合うこと、学校と地域と一緒に活動することなどを通して学校と地域と一緒に子どもを育てるのがコミュニティースクール。ここに社会教育委員がかかわることで、地域課題の解決にもつながっていきけるものと考ええる。

学校にかかわることが、地域づくりになる。

子どもたちの社会性を上げるために、子どもたちには実際に地域に出て、社会のつながりの中で学んでほしい。そのような場面で社会教育委員としてかかわるのもよい。

活動について悩んでいれば、このような場面がきっかけの一つになるのではないか。

○小林委員長

10年ほど社会教育委員をやっているが、このように北信教育事務所からの話を聞いたのは初めて。毎回「社会教育委員は、何をすればいいのか。」と私たちは話していたが、今日話を聞いて気が晴れた。今日話を忘れないようにしたい。